

# さがみはら 市史編さんだより 第15号

2003.11.1

## 『民俗編』編さんの調査を開始

相模原市史続編で刊行するテーマ編の一つ、『民俗編』の調査が開始されました。

『民俗編』は編集委員会委員小川直之氏（民俗学）の総括のもと、相模原市域における民俗伝承を調査し、この結果とこれまでに報告されてきた市域の調査事例を活用して編さんしていく計画です。

調査する内容は、「土地利用のあり方と開発」・「生活の組み立てとその変化」や「軍都建設に伴う生活変化と新たな住宅地の生活様式」など12の項目にわたり、市域の旧7地区（相原・大野・大沢・田名・上溝・麻溝・新磯）を順次調査していくもので、今年度は麻溝・新磯地区の2地区を対象として行います。

9月13日、調査を担当する調査員が集まり、第1回の会議が行われました。会議に参加した調査員はそれぞれ、相模原市域や近隣の市町村はもとより、全国各地での民俗調査や自治体史の調査・編さんに携わった実績があります。会議では、各調査員の担当項目が決まり、調査地区内の巡検を行った上で、個別に調査を実施していくことになりました。巡検は、その土地の地形や集落の立地、耕地や水利、交通の状況等、その地域の基礎的な地理を理解することと、主な社寺や路傍の石造物の所在等、今後の調査に有用な情報を事前に収集しておくものです。

10月20日の巡検当日、小川委員はじめ調査員7名と事務局職員を加えた10余名が相模大野に集合。市のマイクロバスに乗車して、当麻・下溝の地区内を初めに、磯部・新戸の地区内各所から相武台・麻溝台方面へと巡回していきました。

当麻の谷原集落では、現在も使われている講中小屋（共有する冠婚葬祭などの道具を納めておく小屋）がありました。近くにいらした自治会長さんが鍵をあけて下さり、中を見ることができました。巡検では思わぬ成果を得ることがあります。

（副主幹 山田不二郎）



無量光寺(当麻)での巡検の様子

## 編集委員会に専門部会を設置

平成14年8月に編集委員会が発足し、現在進めている現代図録編の編集内容ほか、市史続編編さん全般にわたる協議・検討を行ってきました。その中で、10月10日の編集委員会では専門部会の設置が審議されました。

平成15年度になり、現代図録編以外の各編でも編集の基礎となる資料収集や調査が始まり、今後は、各編ごとに内容構成や調査・執筆計画を検討していく段階に入ったことを受けたものです。

設置する専門部会と担当編集委員は右表のとおりです。この部会には、ほかに調査員や執筆者等が加わり、具体的な作業を進めていきます。

### 専門部会の構成

専門部会名	担当編集委員
近現代部会	金原委員・栗田委員・浜田委員
現代図録部会	浜田委員
自然部会	岩野委員・町田委員
民俗部会	小川委員
考古部会	加藤委員
文化遺産部会	石井委員・神崎委員・清水委員

## 現代編探訪 3 行幸道路

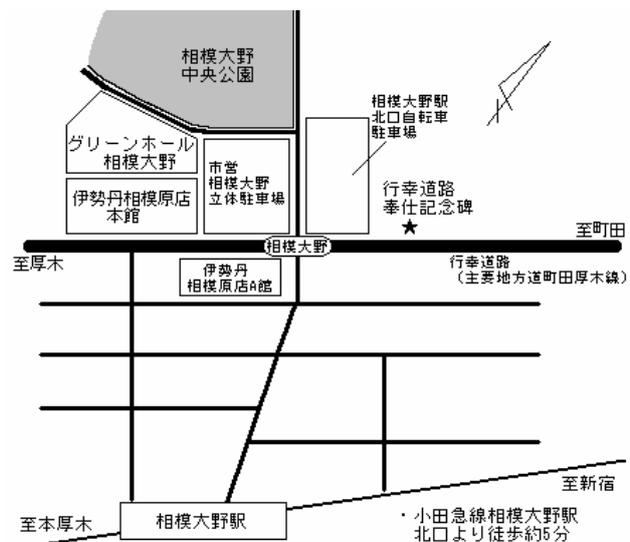


町田－厚木間を結び、相模原市南部の重要な交通網のひとつである、主要地方道町田厚木線。地元市民には「行幸道路」の名で親しまれていますが、この名称の由来は今から66年前にさかのぼります。

昭和12年9月30日、現在の在日米軍キャンプ座間の場所に、旧日本陸軍士官学校が東京の市ヶ谷から移転しました。その際、士官学校と小田急線士官学校前駅（現相武台前駅）を結ぶ新県道の拡張・改修工事が行われました。さらに、同年12月20日に行われる同校卒業式への天皇行幸に伴い、およそ2ヶ月の短期間で、士官学校前駅から原町田駅（現JR町田駅）までの7kmの延長工事が、多くの在郷軍人や地元青年団の勤労奉仕によって行われました。道路は行幸直前に完成し、これをきっかけに行幸道路と呼ばれるようになりました。

改修工事はその後も昭和13年11月まで続きましたが、相模大野にある「行幸道路奉仕記念碑」には、参加した県下青年の延べ人数や、奉仕が「青年ノ心身鍛錬上極メテ有意義」であったことなど、当時の勤労奉仕の様子が書かれています。

（調査員 小山 優美）



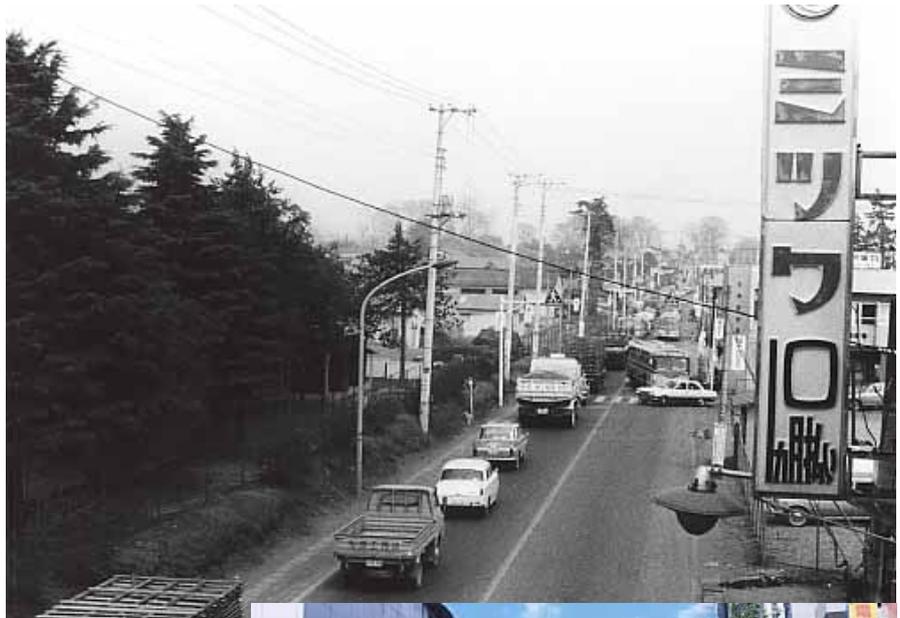
## 前市史編集室の

### 写真から 13

今回は昭和 45 年に撮影した、相模大野地区の写真を紹介します。

上の写真中央の道路は今号の「現代編探訪」でも紹介した「行幸道路」で、当時あった横断歩道橋の上から町田方面を見た風景です。道路左側の敷地は米陸軍医療センターですが、昭和 56 年に日本政府に返還されました。跡地には平成 2 年にグリーンホール相模大野が完成し、隣接して伊勢丹相模原店が開店しました。その後伊勢丹を舞台にしたテレビドラマが放送されたこともありました。下の写真は昨年夏撮影したのですが、市の南部の商業拠点として毎日多くの人が買い物などに訪れています。

(主任 方波見 淳)



## ○「広報さがみはら」で連載記事

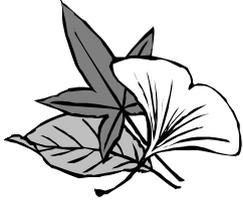
市史現代図録編の刊行まで約 1 年になりました。11 月 1 日号の「広報さがみはら」から、この図録編で取り上げるテーマに沿った連載記事「市制 50 周年 さがみはら昨日・今日」が始まりました。市内で現在でも見られる産業遺産や記念碑、街の風景から歴史的背景など何が読み取れるのかを、月に 1 回紹介していく予定です。なお、広報さがみはらは市内の各家庭には新聞折り込み等で配布するほか、市内の駅や公共施設にも置いてあります。

## ○市史編さん室の新しいスタッフです (10 月 1 日付で職員の異動がありました。)

主事 鈴木亜由美 (すずき・あゆみ)

資産税課から異動してきました。生まれ育った相模原の歴史を綴る機会に恵まれてうれしく思っております。より良い市史をお届けできるよう頑張りたいと思っていますので、よろしくお願いします。

※なお、河本雅人学芸員は、同日付で博物館へ異動になりました。



## 編さん室の動き (9月～10月)

月	日	内 容
9	2	現代図録編執筆者打合せ会議開催
	4	個人宅へ写真資料調査・収集（元橋本）
	6	イトーヨーカドー古淵店へ写真資料調査
	11	國學院大学へ考古資料調査
	12	産地同定終了の黒曜石引き取り（沼津） 国文学研究所資料館史料館へ資料調査
	13	民俗編調査打合せ会議開催
	20	市史講演会「明治・大正の地図から見る相模原」開催 （講師 清水靖夫氏／参加者 103 人）
	30	県立歴史博物館へ資料写真撮影・資料返却 現代図録編関連市内景観写真撮影
	10	1
2		現代図録編関連市内景観写真撮影（9日にも実施）
3		民俗編調査地区へ協力依頼（麻溝・新磯／10・11・17・18・21日にも実施）
9		国文学研究所資料館史料館へ資料調査
10		平成15年度第2回市史編集委員会開催 綾瀬市に既刊市史掲載写真のネガ資料貸し出し
15		博物館防災訓練に参加
16		秋田県公文書館、秋田市市史編さん室、横手市市史編纂・文化振興室へ視察調査 神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会研修会へ参加 （日本郵船資料館・横浜都市発展記念館・横浜ユーラシア文化館） 広聴広報課と現代図録編及び50周年記念要覧の内容について打合せ
17		日野市ふるさと博物館へ50周年記念展関連視察調査
18		相模総合補給廠跡地利用シンポジウム出席
20		民俗編調査、麻溝・新磯地区巡検

### 「さがみはら市史編さんだより」第15号

発 行 平成15年11月1日

編 集 相模原市総務部総務課市史編さん室

〒229-0021 神奈川県相模原市高根3-1-19

TEL 042(750)8025 / FAX 042(750)8039

E-MAIL : shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp